

●意外と大切雨対策

GW時期の東京は基本的に、朝から雨（あるいは今にも降り出しそうな曇り）でなければ、概ね日中は安定した天候で、降り出すのは夕方以降という傾向にある。また雨の場合は、朝からほとんど気温が上がらない1日中ぐずついた天気になるか、午前中パラパラと降って午後から一気に回復して気温が上がるかのどちらかのパターンとなることが多い。ざっとこういった傾向を知っておくだけでも、着衣や装備の最適化がしやすくなるだろう。

ごくまれに、気圧の谷などの影響で、午前中は暑いくらいの快晴だったのに午後から急変して気温が急降下し、強い風や雨に見舞われることもあるが、もしコミケット会期中にこの天候になったら、それはもう不運と呼ぶしかない。

しかし、コミケット参加者たるもの、例えどんな時でも自分の身と、それ以上に戦利品は守らねばならないので、例え五月晴れの快晴であっても油断せずに最低限の雨対策はして行こう。

- ・朝から快晴、天気予報でも降雨可能性ほぼゼロ：撥水性能のある上着を着るか、ポンチョをバッグに。
むしろ日焼け止めや日射し対策を用意。
- ・曇り、天気予報ではビミョーな感じ：折り畳み傘とポンチョをバッグに。ボトムを乾きやすいものに。
- ・小雨、予報では1日降ったり止んだり：折り畳み傘、ポンチョ、撥水性能のある上着と乾きやすいボトム、タオル。
- ・朝から雨で日中いっぱい降り続きそう：折り畳み傘、ポンチョまたはしっかりした防水性能のある上着、あるいは（100円ショップのではない）レインコート、タオル複数枚、防水性能のある靴。

例え朝から雨であっても、会場周辺や待機列で参加者が密集している場所では傘の使用は避けたい。駅に着いてから待機列に向かうまでの間に雨具を着けなければならないので、荷物の上から一気に羽織れるポンチョがベストだ。

また、会場内に濡れたままの長い傘を持ち込むのは周囲の迷惑であり、危険物にもなりえるので、コミケット会場に持って行く傘は会場内ではバッグにしまえる折り畳み傘が望ましい。

また、雨に濡れてしまった場合、この時期は夏ほどの気温はなく、冬ほど着込んでもいないために非常に寒い思いをすることになる。雨模様の時にはくれぐれも着替えを忘れず、ボトム、靴、靴下などは濡れても乾きやすいものを



●GWコミケットでも的確エネルギー補給！

暑すぎも寒すぎもしない時期なので、飲食にもそれほど神経質にならなくてもよいとは言え、長時間にわたって活動するためにはきちんとしたエネルギー補給が必須なことに変わりはない。むしろ夏冬のような必死さがなく、閉会前後くらいの集中力が途切れた時間に突然ガクンと身体に力が入らなくなり、気づけば長時間にわたって全く飲んだり食べたりしてなかった！ということさえありえる。

さらに日中は時に真夏日と呼ばれる高気温となることもあるので、待機列に並ぶ際は（予想待機時間の長短に関わらず）必ず飲物は用意し、菓子パンやエネルギーバー、ゼリー飲料などの簡単に食べられる行動食も少しでもいいので携行しておこう。

適度な休憩と水分、エネルギー補給は、例えコミケットの開催季節がいつであろうとも必要不可欠なのだ。

ただし、多少の真夏日でも夏コミの場合ほど塩分補給の必要はない。

